

# 淡路島北部にニッポンハナダカバチとキアシハナダカバチ モドキを産す 登日 邦明 5

淡路島南部の南淡町にニッポンハナダカバチ *Bembix niponica* が産することがこれまで知られていたが、本年（'96）7月30日にNSIの大草伸治氏が島北部の東浦町の箒場山で本種が多数生息していることを発見し、筆者も翌31日に同地を訪れ2♂1♀を採集し、営巣中の生態写真も多数撮影したので、写真を付して記録しておきたい。

本種は砂浜や川原の砂地などにみられるようであるが、海岸から程遠くないとはいえ、標高が200m余りある山地の尾根部に生息するのは興味深いと思われる。

また、同地にはキアシハナダカバチモドキ *Stizus pulcherrimus* も産し、8月5日に1頭を採集した。



(とび くにあき)

## 編集後記

- ▽ 遅くなりましたが44号をお届けします。次号は来春発行の予定です。
- ▽ さる（'96）7月30日～9月8日に、本会とNSIの協力で洲本市立淡路文化史料館において企画展「淡路島の自然シリーズ 淡路島の昆虫」が開催されました。同封のパンフレットはその時のもので、十分な内容ではありませんが、淡路島昆虫の概要は把握できるかと思えますので、ご参考までお送りします。
- ▽ '97年度の会費も2000円です。同封の振替用紙で早めにお願ひします。 (TB)

### PARNASSIUS No.44

1996年12月19日印刷      1996年12月23日発行  
編集者 登日邦明      発行所 淡路昆虫研究会  
〒656 21 兵庫県津名郡津名町大町畑235  
郵便振替 01170-3-49591

印刷所 れいめい社

〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24